

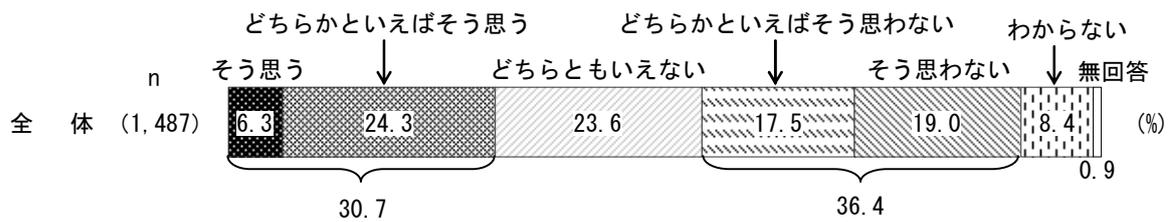
2 地域福祉の推進について

(1) 安心して暮らせる地域社会づくり

◇『そう思う』が3割

問4 あなたは地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

<図表2-1>安心して暮らせる地域社会づくり



安心して暮らせる地域社会づくりについて聞いたところ、「そう思う」(6.3%)と「どちらかといえばそう思う」(24.3%)を合わせた『そう思う』(30.7%)は3割となっている。一方「どちらかといえばそう思わない」(17.5%)と「そう思わない」(19.0%)を合わせた『そう思わない』(36.4%)は3割台半ばとなっている。(図表2-1)

【地域別】

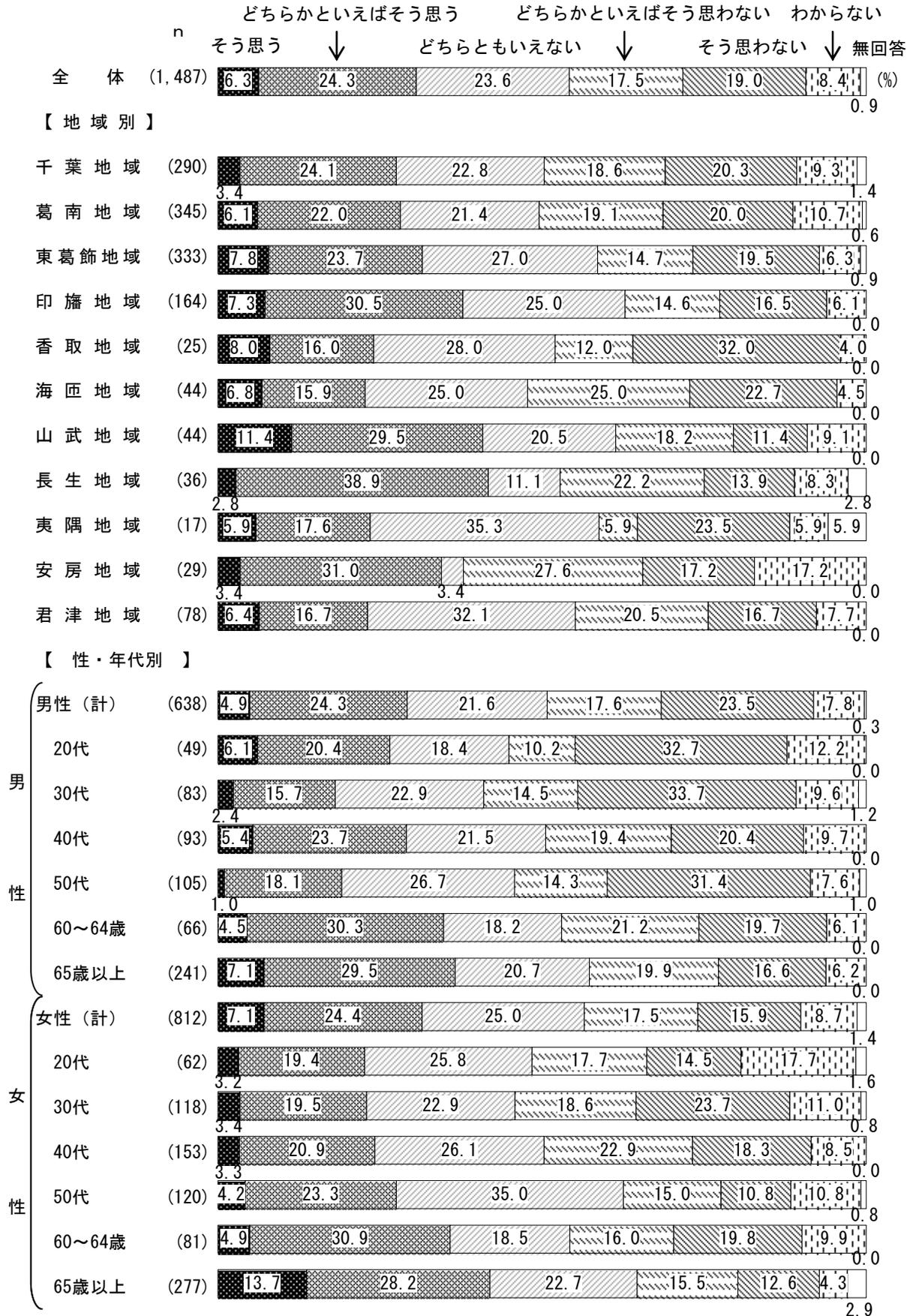
地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(41.7%)、“山武地域”(40.9%)が4割以上、“印旛地域”(37.8%)が約4割で他の地域に比べ高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性65歳以上(41.9%)が4割を超え、男性65歳以上(36.5%)、女性60~64歳(35.8%)、男性60~64歳(34.8%)では3割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。

(図表2-2)

<図表2-2>安心して暮らせる地域社会づくり／地域別、性・年代別

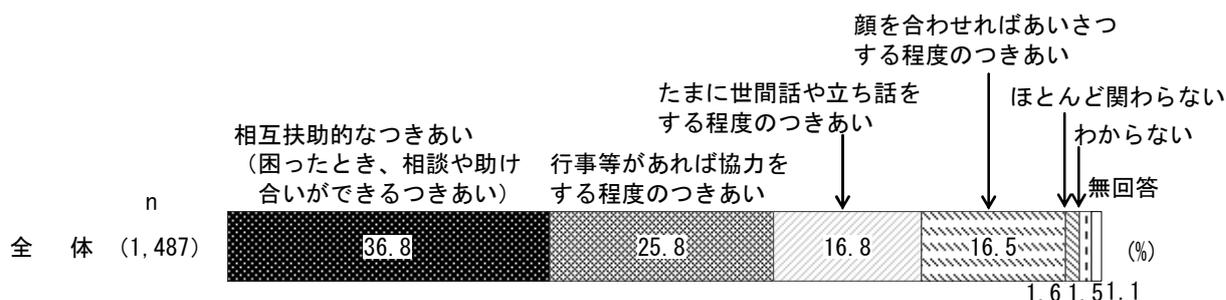


(2) 近隣の人に対する望ましいつきあい方

◇「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」が3割台半ば

問5 あなたは近隣の人に対して、どのようなつきあい方が望ましいとお考えですか。（○は1つ）

<図表2-3>近隣の人に対する望ましいつきあい方



近隣の人に対する望ましいつきあい方を聞いたところ、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」(36.8%)が3割台半ばと最も高く、以下「行事等があれば協力をする程度のつきあい」(25.8%)、「たまに世間話や立ち話をする程度のつきあい」(16.8%)、「顔を合わせればあいさつする程度のつきあい」(16.5%)が続く。(図表2-3)

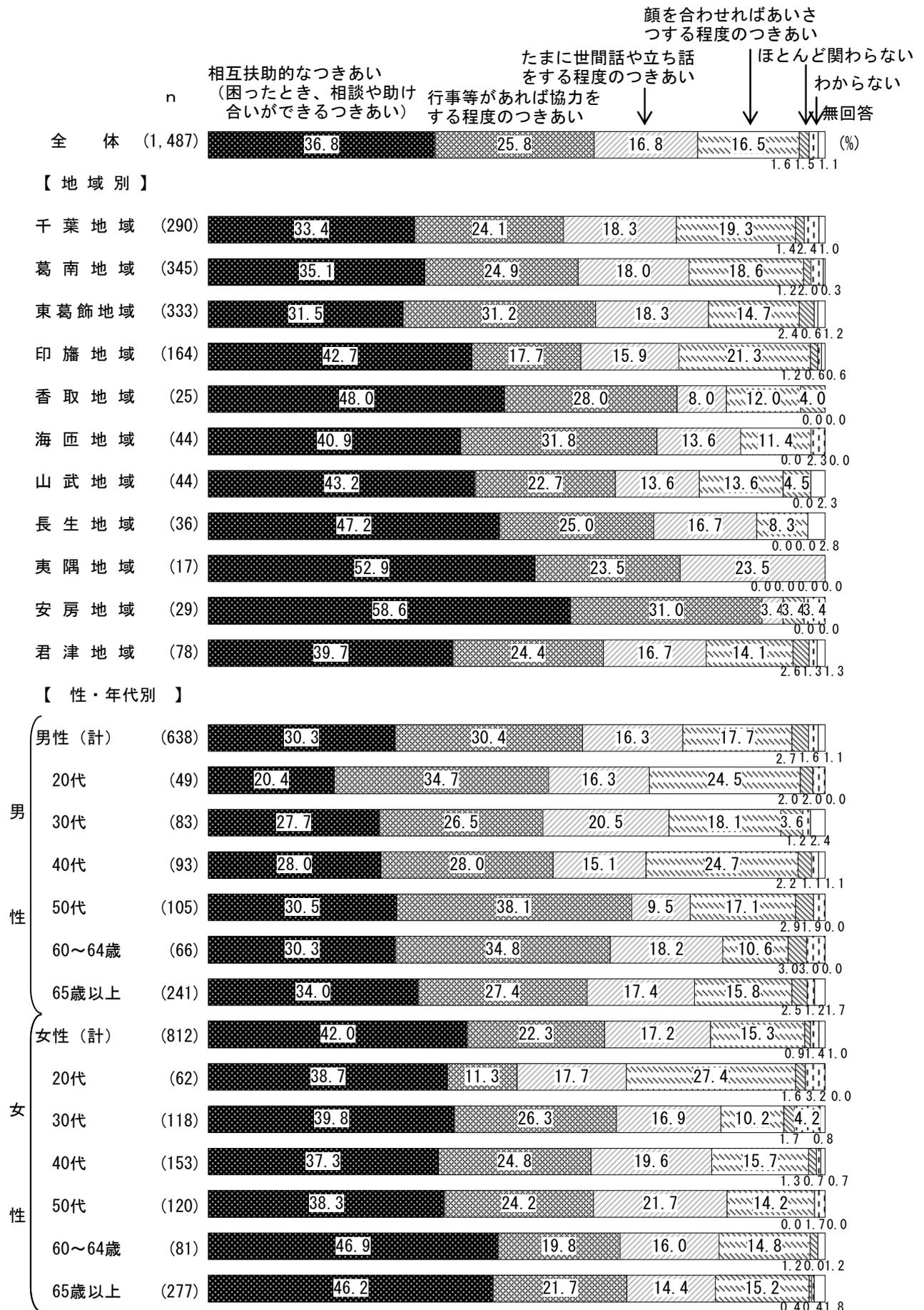
【地域別】

地域別にみると、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」は“安房地域”（58.6%）が約6割で他の地域に比べ高くなっている。以下、“夷隅地域”（52.9%）が5割を超え、“香取地域”（48.0%）、“長生地域”（47.2%）が約5割と続いている。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「相互扶助的なつきあい（困ったとき、相談や助け合いができるつきあい）」は女性60～64歳（46.9%）、女性65歳以上（46.2%）で4割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。「行事等があれば協力をする程度のつきあい」では、男性50代（38.1%）が約4割、男性60～64歳（34.8%）、男性20代（34.7%）が3割台半ばとなっている。(図表2-4)

<図表2-4>近隣の人に対する望ましいつきあい方／地域別、性・年代別

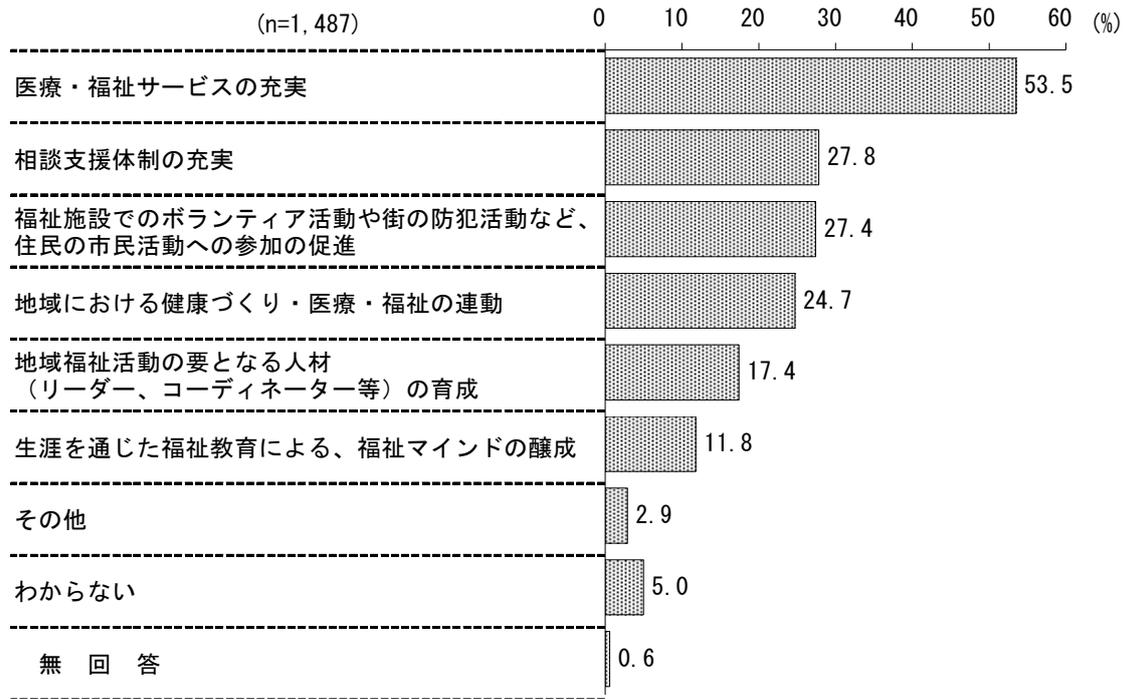


(3) 安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組

◇「医療・福祉サービスの充実」が5割台半ば

問6 あなたは互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会をつくるため、どのような取組が必要だと考えますか。(〇は2つまで)

<図表2-5>安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組



安心して暮らせる地域社会を作るために必要な取組を聞いたところ、「医療・福祉サービスの充実」(53.5%)が5割台半ばと最も高く、以下「相談支援体制の充実」(27.8%)、「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」(27.4%)が共に約3割と続く。

(図表2-5)

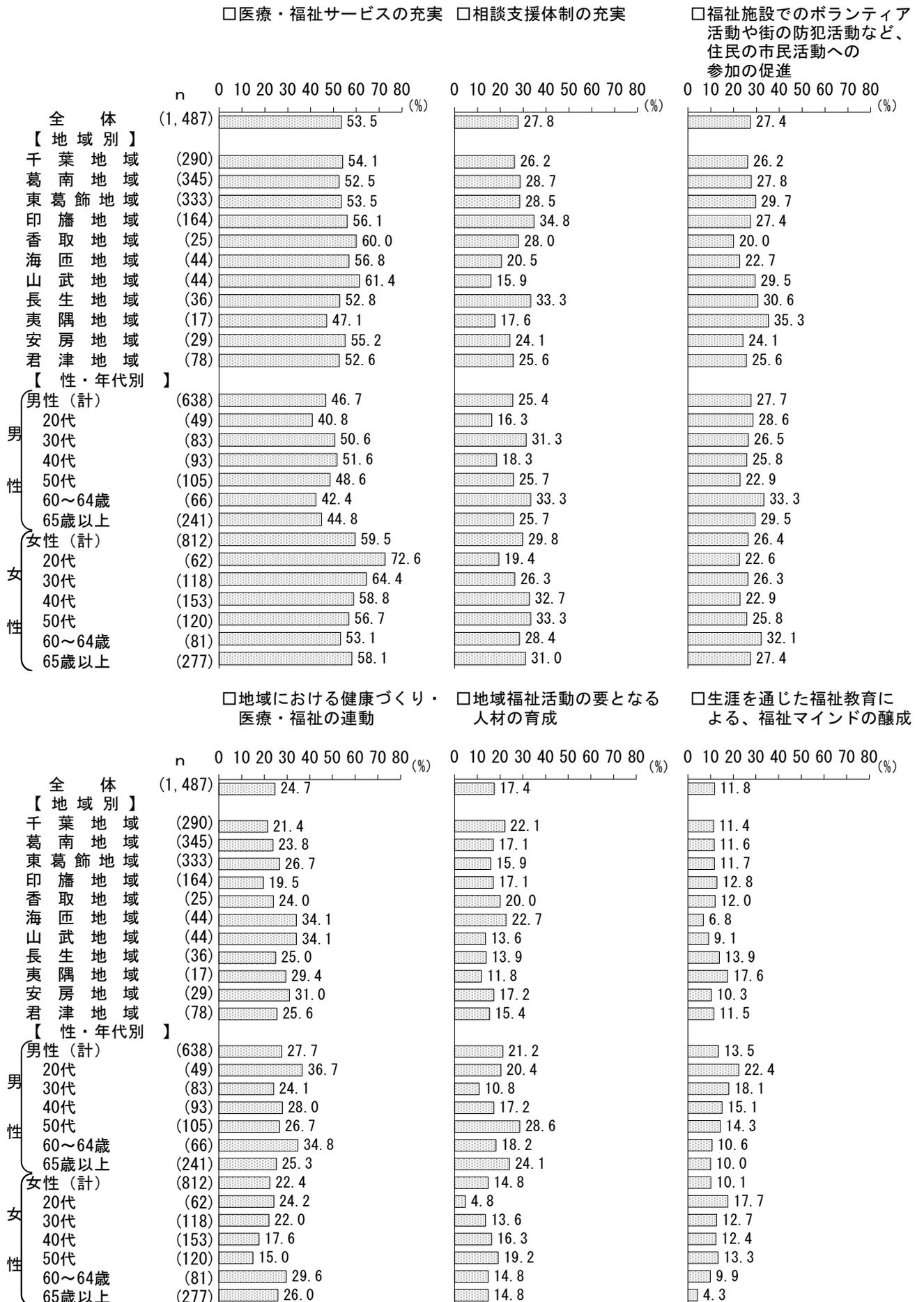
【地域別】

地域別にみると、「医療・福祉サービスの充実」は“山武地域”(61.4%)、“香取地域”(60.0%)が6割以上と高くなっている。「相談支援体制の充実」では“印旛地域”(34.8%)、“長生地域”(33.3%)が3割台半ばと高くなっている。「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」は“夷隅地域”(35.3%)が3割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「医療・福祉サービスの充実」は女性20代(72.6%)が7割を超え、「相談支援体制の充実」では男性60~64歳・女性50代(ともに33.3%)、女性40代(32.7%)、男性30代(31.3%)、女性65歳以上(31.0%)が3割以上、「福祉施設でのボランティア活動や町の防犯活動など、住民の市民活動への参加の促進」は男性60~64歳(33.3%)、女性60~64歳(32.1%)が3割以上と他の年代に比べ高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>安心して暮らせる地域社会をつくるために必要な取組／地域別、性・年代別(6項目)



このほかに、「地域福祉の推進について」やここまでの質問（問4～問6）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、162人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「地域福祉の推進について」の自由回答（抜粋）

- 主人が車イスの生活になり、地域の方々のささえが大変助かってます。常日頃よりの近所づきあいが大切ですね。地域福祉の充実、ケアマネージャー等の連携が必要だとつくづく思います。
(女性・65歳以上・葛南地域)
- 町会や近隣の方々とも、生活時間が合わないのか、会うことが減ってきている。町会でも、役員が高齢者が多く、行事の中止が多くなってきている。どうにかした方がいいと思うが、忙しく、手伝う事も難しい。中高年の意識を変えていく事が大切かもと思う。(女性・50代・葛南地域)
- 高齢の方だけの家族も多く、福祉サービスなど、どのようなものがあるのか知らないのではないか。また、福祉サービスなどを受けるのに抵抗を感じている(みっともない、近所の方にどう思われるかなどを気にする)人もあるように思います。(女性・60～64歳・海匝地域)
- 諸々の活動への参加等の義務化は賛成できません。負担になるようなことは避けるべきです。あくまで自主的に参加する領域であるべきです。地域は住民の意思が大切です。必要最小限の環境作りが行政の仕事です。(男性・60～64歳・印旛地域)
- 高齢者や支援の必要な人をどのようにサポートしていくか。把握するにはどうすれば良いか。地域自治会との連携。その後の見守り訪問体制づくりを県が主体となって進めていく事業計画を作ってほしい。(女性・40代・葛南地域)
- 近所の子供が昼に自分の家の庭で遊んでいたら、お隣さんにうるさいと言われたそうです。こんな地域、嫌です。普段からの交流で、避けられるトラブルもたくさんあると思います。
(男性・30代・葛南地域)
- 子供から老人までみんなが参加できるイベントがあれば良いと思う(スポーツ、旅行、お祭り等)。
(女性・30代・君津地域)
- 町内会に参加を拒否、または福祉活動拒否、そういう人達が増えている状況の現在、地域福祉支援計画は難しいのでは？(男性・60～64歳・山武地域)
- 生活の体系や時間帯が多様化する中で、近隣の世帯というコミュニティで助け合うというのは難しくなっていると思います。民間と協力し、学校、スーパー、薬局、病院、スポーツクラブ等、地域住民が関わりが深く、利用頻度の高い施設や環境を活かした新しいコミュニティ作りも必要なのでは。(女性・20代・千葉地域)